

第5回審議会での意見とその対応

(2) 人口ビジョンについて

番号	委員名	意見要旨	対応
1	鈴木（温）委員	合計特殊出生率が、近年、全国は伸びてきているが、犬山市は下がっている。 子育て世帯が住みやすいまちづくりが行われていなかったのではないかと。その理由はこれから検証していく必要がある。1.55を実現していくためには、子育て世代の人たちが安心して住めるような施策を様々な面から展開していく必要がある。	合計特殊出生率について、県内自治体を比較しました。 結果は「資料3 犬山市の合計特殊出生率について」をご覧ください。
2	丹羽委員	出生率が全国平均より低いということは非常に問題。もっとそこを深掘りしない限り、こういったものは解決できない。 本当にやるべき内容は、次の4年、皆さんが住みたいと思う、住み続けたいと思う、そういうところの深掘りをもっとする必要がある。	同上

(3) 土地利用について

番号	委員名	意見要旨	対応
1	奥村委員 (会議後)	2ページ「将来の都市構造 ③土地利用の考え方」三つ目の「〇将来にわたって、住んでいる人たちの暮らしが持続できるよう、公共交通など地域の「足」の確保を図ります。」のうち、「公共交通など地域の「足」の確保」だけでなく、「既存の鉄道、バス、コミュニティバスなどの交通網との連結性を図るため交通結節点の整備を推進します。」とするのはどうでしょうか。 具体的には、鉄道駅前の面整備をして、①コミュニティバスを駅に直結させる。②駅利用者のパーク＆ライド方式の導入③駐車場、駐輪場等の整備などを行うことにより、「足」の確保が保障されていくのではないかと思います。	新たに 「鉄道駅周辺は公共交通機関や自転車等との接続を改善し、利便性向上を図ります。」（仮）を追加しました。

(4) 基本目標骨子案について

番号	委員名	意見要旨	対応
1	鈴木（温）委員	1番目、子育てをしやすいまちというのは非常に大きな柱。また、健康面や福祉面、健康で生き生き生活できるということも重要。その内容と上に書かれている、「学び、楽しみ、活躍できるまち」というものは少し乖離がある。健康面、例えば「健やかに」とか。子育ての面では、もう少しそこで人が生まれて育てていくというニュアンスが出るような目標になるといい。	「誰もが育ち、楽しみ、活躍できるまち」に変更しました。 （「資料2 基本構想（素案）P3」参照）
2	鈴木（温）委員	自然と人の生活とのバランス、調和を取っていくことが非常に重要。それが循環だとか持続可能につながっていく。そういうキーワードなりが出てくるといい。やさしいまちというのは少しぼやけている。調和的なものが入るといい。	「地球にもやさしい」という「地球」は、自然だけでなく、資源、地球温暖化、低炭素といった広い意味での地球環境を含んだ表現としています。 「人にも・・・地球にも」という「にも」の中に、人の生活だけ、また、地球環境だけを考えるのではなく両者を両立させる調和という概念を含んだ表現となっています。 今回、新たに作成した説明文にその旨を記載しました。 （「資料2 基本構想（素案）P3」参照）
3	間中委員 (会議後)	「コミュニティづくり」についてですが、コミュニティをつくるのは住民なので、「コミュニティの形成を推進する」というような言葉に変換できるのではないかと考えます。 財政が厳しくなっていくことを考えると、住民主体ということを打ち出しておくのは大切だと思いました。	【前段】 今回、基本目標にかかる説明文を新たに作成しました。ここでは、個別の具体的な内容の記載は外しています。 【後段】 下記をご覧ください。
4	間中委員 (会議後)	コミュニティは基本目標の三つにすべて関わることができると考えています。三つ目の「人にも地球にもやさしいまち」ということにも大きく関わっていると思います。例えばコミュニティが形成されれば、そのコミュニティの中で環境への取り組みや防災対策などもの活動も重要であると考えます。	ご意見の内容につきましては、基本目標（目指すまちの姿）というよりも推進体制【主体】に関するものだと捉えています。 今回の「資料2 基本構想P3」に、「まちづくりのイメージ」を載せていますが、ここでいう「地域」の中にコミュニティが含まれると整理しています。
5	目黒委員 (会議後)	(1)は「人」をメインにした目標とのことだったかと思いますが、(3)にも「人」に関する内容を含むことから「人」という言葉が使われています。 内容を見ると(1)と(3)は区別されていますが、目標のタイトルのみを見ると(1)が「人」をメインにしているという印象は(3)によって薄められているように感じました。 ですので、(1)にも「人」をメインにしていることがより伝わるようなワードを入れてはいかがでしょうか？ 例えば、「『誰もが』学び、楽しみ、活躍できるまちへ」	「誰もが育ち、楽しみ、活躍できるまち」に変更しました。 （「資料2 基本構想（素案）P3」参照）

その他① 施策（シティプロモーション）

番号	委員名	意見要旨	対応
3	本巢委員	ハザードマップを見る限り、犬山市は名古屋市よりもいい。シティプロモーションのポイントになるのではないかな。	
5	間中委員	魅力だけでなく、危機的状況を住民の人と共有できるような発信があると、住民も一緒に考えていけないかな。	
6	間中委員	情報がすごく大事。本当に知らないなと思うので、それをどう住民に伝えて、どう住民を巻き込んでいくのか、ということをごここにに入れていただけないかな。	
7	間中委員	住民が感じたらSNS等で発信力があるので、発信することができる。広報活動としても住民の人たちにしてもらえるといいのではないかな。	
10	水内副会長	名古屋を中心としたドーナツ状で、近隣だけにとらわれずに、いかにプロモーションをして呼びかけていくのが大事になるのではないかな。	
11	水内副会長	ティッピング・ポイントをいかに作り出すかが重要。	
12	水内副会長	犬山は非常に歴史的なまち、自然も多い。それは非常に良いことに感じるかもしれませんが、裏返して言うと、古いであるとか住みにくいということにもつながっている。それをどう表の面として印象づけていくか。印象づけるだけではなくて、実際の行動に結びつくように施策を打っていくか。	
13	目黒委員	犬山市以外の人々の視点を入れたり、若い人の視点を入れたりとかすると、プロモーションの効果が上がったり、より若い人向けのプロモーションができたりするのではないかな。	
14	森好委員	にこっとで今年度、お役立ちブックの作成、犬山まちづくり自主学校という取組をしている。こういった事業を展開、継続していく上でも、条例とか計画の中にそういった部分も取り込んでいながら、皆さんの知恵をいただきながら、一緒に進めていけたらいい。	
15	鈴木会長	「69,818人を実現するために」は、どちらかという市の施策的な視点が出ているが、これは市民と行政との協働で実現していくものであって、市民のこれまでの取組とか、市民ができること、やりたいことという観点も少し表現の中にうまく組み込んでいく必要があります。今後これを実現していく上では、市民協働という視点が不可欠。	

その他② 施策（シティプロモーション以外）

番号	委員名	意見要旨	対応
1	岡村委員	若い人たちが、非正規労働者当いろんなことが多いので、新しい形での市営住宅の計画を提案したい。	
2	岡村委員	家賃補助を検討していただきたい。	
8	増田委員	転出を防ぐという意味で建て替えの補助金等を確保して、犬山から転出させない施策もあるといい。	